

中学生の中間テストについて

中学生の皆さんは、いよいよ、新年度最初の定期テストです。特に新1年生にとりましては、初めての定期テストとなります。これまでの勉強ではなく、テスト範囲に合わせて、しっかりと復習中心に勉強を進めていってください。また、提出物については、できるだけ早めに終わらせ、テスト前日になってやっているというようなことがないようにして下さい。

当然のことですが、定期テストが近づくと、過去から良い成績を収めている生徒ほど勉強時間が多く、点数が取れていない生徒ほど勉強時間が少ない傾向にあります。点数が良い生徒に対して、よく「あの子は頭がいいから」などと言う生徒がいますが、決してそんなことはありません。点数の差は、絶対的な努力の差が一番大きいのです。点数を伸ばしたいのなら、まず、絶対的な勉強の時間量を増やしてみてください。

そして、この定期テストの積み重ねが、結果的に入試に直結する基礎となりますから、どの科目も決して怠ることなく、頑張ってお勉強に励みましょう。普段塾で学習していない科目についてもしっかりと勉強し、自分で納得できる点数をとって下さい。

ゴールデン・ウィーク特訓お疲れ様

中学生の皆さんは、「ゴールデン・ウィーク特訓」本当にお疲れ様でした。初めて「特訓」を経験した生徒の皆さんは、過去にこんなに勉強したことがなかったのではないですか？あれだけの問題演習をこなしたのですから、絶対に皆さん一人一人の力になっているはずですよ。この頑張りを、中間テストで生かしてくださいね。

さて、現時点（5月8日）で終了者は次の通りです。

	G.W 特訓受講者	終了者
中1生	13名	9名
中2生	16名	7名
中3生	24名	11名
合計	53名	27名

中2・3年生については、クラブ活動の試合等で、特訓そのものにほとんど参加していない生徒もいました。結果的に、中2・3年生の終了率は、例年に比べ低いように感じます。しかしながら、特訓期間終了後も、塾へ来て、毎日頑張ってお勉強をこなしている生徒も多く、後、確認テストを受けるだけという生徒も数名います。また、後ほんのわずかで終了という生徒も多くいます。そうした頑張りは、後々、皆さんの勉強に絶対に生きてきます。最後まであきらめることなく、必ず終了するようにして下さい。

しかし、一方で、期間終了後、全く問題演習をしに来ない生徒も一部いることも事実です。わずかに数名のそのような生徒たちは、今からでも遅くはありません。自分のできる範囲で、とにかく頑張ってみてください。この時期の基礎が、今後の学習に大きく影響してきます。クラブ活動や様々な予定などもあると思いますが、どうか、頑張ってお勉強してください。

『社会の勉強ついて①』

近年、「社会」が苦手だという生徒が目立ちます。そして、そういう生徒に限って「社会なんて勉強したって…」などと言ったりします。

また、ご家庭においても「社会なんて、覚えたらしまいなんだから」などと生徒たちに言ったりします。さて、本当にそうでしょうか？

まず、第一に「社会なんて勉強したって…」ということですよ。世界がグローバル化し、様々な国の人たちが日本を訪れ、ちょっと外出すればすぐに外国人に出会う世の中です。また、日本人も多くが海外を訪れ、少し大きな会社に入れば、海外勤務など当たり前の世の中になってきました。そんな世の中で、「社会なんて」と言える状況では、絶対にはいはず。「地理」や「歴史」は、最低限「知っていて当たり前」の世界になりつつあるのです。語学と同様、最優先にすべき科目の一つと言えるのです。ましてや、以前「3科目受験」であった高校が、「5科目受験」に変更してきているのが、全国的な入試の流れなのですから。

次に、「覚えたらしまいな」ということです。歴史を教えていて、「今、何時代を勉強しているかわからない」とか「時代の名称すら知らない」、また、地理の勉強で、タイの位置を尋ねたら、ヨーロッパをしきりに見ている生徒がいたりしました。このような生徒に、詳しいその時代のできごとや、その国の産業など教えても何も頭には残りません。覚えるどころか、ますます嫌いになるばかりです。まずは、教科書をしっかりと読んで、基本事項だけは頭に入れてください。そのうえで初めて「覚えたらしまいな」になるのです。

ただ、そのためには、学校、塾での勉強だけではなく、テレビや新聞などのニュースで出てきた国を、地図帳で調べたり、様々な歴史的なことに興味をもったりすることです。「社会に興味がない」のではなく、知らないことが多いから、「社会に興味がない」のです。

今回は「社会の勉強の仕方」についてより詳しくお話しさせていただきます。

自習室を活用しよう

いよいよ、中間テストも近づいてきて、にわかに自習室も活気づいてきました。中にはG.W特訓をしに来ている生徒もいます。しかし、自習室の活用が、特定の生徒にかたよっている感じがします。特に中1生の活用が全く無いのが気にかかります。家にいると、なかなか勉強がはかどりにくいことも多々あるはず。中間テストの勉強に、自習室をおおいに活用してくださいね。

自習室は、皆さんの利用をいつも待っています。



『定期テストについて』

定期テストの点数は、生徒たちにとって、学校生活における最大の関心事のひとつ。それもそのはず。その点数如何によって、成績表がつけられ、ひいては入試の内申書の点数になるのですから。

生徒たちが塾へ来て、一生懸命勉強している目的も、その定期テストの点数をより多くとるためにほかなりません（もちろん、最終的には入試ですが）。もちろん、その点数が人間の価値を決めるなどということは決してありませんが、少なくとも、努力をしたかどうかの目安になるのは明らかです。生徒によっては、結果が早く出たり、時間がかかったりと、その差はありますが、普通に努力していけば、必ず成績は伸びます。特に学年が進むにつれて、過去の学習の遅れが、点数の伸び悩みになることも事実ですが、素直に努力すれば、成績は伸びて当たり前なのです。

ところが、「成績が伸びない」という生徒ほど、素直に努力していません。まずは、普段の学習をしっかりとやりましょう。特に宿題を真面目にすることや、小テストを必ず合格することです。そうした、日々の積み重ねがなくて、テストの前日になって必死に勉強したとしても、成績を上げるのはもちろん無理な話です。

定期テストの点数は、普段の勉強の延長線上にあります。塾での勉強ももちろんですが、学校の勉強もおろそかにすることなく、先生の話もしっかりと聞き、真面目に努力してください。

また、定期テストの中には、まれに『難問・奇問』と言われる問題や、難しすぎたり、易しすぎたりする問題もありますが、概ね『普通の問題』です。『普通の問題』とは、その単元の基礎が理解できているかどうかを判断するのに適切な問題であるということです。ですから、その点数をしっかりと取ることが、非常に重要なわけですよ。つまり、点数が取れていないということは、その単元の基礎ができていないということになるからです。

塾でも、定期テスト対策は非常に力を入れています。定期テスト前の平常授業においてはもちろんのこと、テスト前日には、翌日のテストに合わせて、特別の対策授業を実施したりします。

新学年最初の定期テストです。良い結果を出せるように、しっかりと頑張らしましょう。生徒の皆さんの頑張りを、当塾教師全員がおおいに期待しています。